

石垣市家庭教育支援チーム広報紙

希(き)杜(ず)南(な)

希：希望に満ちた家庭
杜：島を守る緑豊かな杜（神聖な森）
南：南ぬ島（ばいぬしま）石垣島

【発行目的】

- 支援チームの活動報告と家庭教育に関する
- 情報の提供を行い、青少年の健全育成に資する。

【連絡】

石垣市教育委員会（いきいき学び課）

沖縄県石垣市美崎町16-6

TEL 0980-83-0373

FAX 0980-83-9251

Eメール kyo-manabi@city.ishigaki.okinawa.jp



家庭教育支援事業 一口ミニ講話

講師：石垣市家庭教育支援チーム代表 宮良 博

導入：絵文字あそび

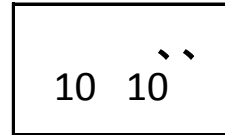
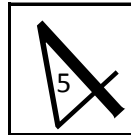
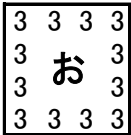
目的：「促通効果」が図られる。

Q：「促通効果」って何ですか？

A：脳の運動機能を刺激し、全身神経が発達する。なれとって一般的な生理学的用語である。

どんな、絵文字あそび？

※ 下のカードは、何と読みますか？ ヒントの要望や回答は、いきいき学び課にお寄せください。



答え：

答え：

答え：

答え：

ミニ講話の内容

目的：家庭教育の向上に関する内容。

ミニ講話の紹介 1

テーマ「きく」の文字から学ぶ家庭教育

聞く

「聞く」という字は、門がまえの中に耳がある。この門が閉じられていると、外から大声で叫んでも耳に入らない

門が開いていても、音の聞こえてくる方向が悪いと門に入らないで、外を素通りしてしまう

門が開いていても音が入ってきてもスキ間から抜けてしまい 耳に入らないこともある
聞き流す・聞き漏らす・聞き逃すなどの現象である。

聴く

これに対して聴くという字は・・・昔の字では「聽」と書いた これは耳を王様にして 十四の心を一つに、聴く姿勢を示した。

十四の心とは：

優しい心・清い心・尊い心・真剣な心・愛しい心・・・

最後に、ありがとう(感謝)の心で聴く。

よって・・・

聴くことは、心から傾聴する態度である。
山や木や鳥や花や風など声無き声を聴く
あらゆる事情を聴く・町の声を聴く など。

まとめ

心、ここにあらざれば、見るもの見えず。 聴くのも聴こえず。

心、ここにあらば何ごとも見え、しっかり聴こえる。 ～姿勢 表情 目配り 手の動き 息遣い～
言葉だけではなく、あらゆる手がかりに心をくばり、子どもの声を聴く親になろう！

ミニ講話の紹介 2

子どもを健やかに育むために～愛の鞭ゼロ作戦～

子育てにおいて、しつけと称して、叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼしてしまう可能性がある。

一見、体罰や暴言にはしつけの効果があるように見えますが、叩くことによって得られた子どもの姿は、叩かれた恐怖によるものであり、自分で考え行動した姿ではない。

「愛の鞭だから」と親が思っても、子どもにとって大人から叩かれることは恐怖そのものです。心のダメージはかなりのものです。

また、体罰や暴言は「虐待」へとエスカレートする可能性があります。

「叩かない怒鳴らない」と心に決めましょう。

山本五十六の言葉に「褒めてやらねば人は育たず」とあります。子どもの良いところを褒めて育てましょう。

躰

(しつけ)

身を美しくの意